

## 会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第5回武蔵村山市長期総合計画審議会
開 催 日 時	令和2年4月16日(木)
開 催 場 所	書面開催
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：和田委員、阿部(慶)委員、阿部(和)委員、石塚委員、佐藤委員、杉原委員、高橋(玲)委員、高橋(薫)委員、田代委員、平野委員
議 題 等	<p>1 開 会</p> <p>2 報 告</p> <p>(1) 第4回武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について</p> <p>(2) 中間答申について</p> <p>(3) 基本構想(素案)のパブリックコメントについて</p> <p>(4) 第五次長期総合計画における「施策の大綱」の位置付けについて</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 基本計画について</p> <p>(2) その他</p>
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	<p>議題(1) 基本計画について：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画の検討資料について、委員の意見を素案に反映することとした。</li> </ul> <p>議題(2) その他について：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次回の審議会は、6月26日(金)の午後3時から開催することとした。</li> </ul>
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p>1 開 会</p> <p>—新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、書面での開催—</p> <p>2 報 告</p> <p>(1) 第4回武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について</p> <p>(2) 中間答申について</p> <p>(3) 基本構想(素案)のパブリックコメントについて</p> <p>(4) 第五次長期総合計画における「施策の大綱」の位置付けについて</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>(委 員) 施策の体系の案では、スポーツ・レクリエーションに関して、教育の項目に移動する案となっているが、事業の内容などから、健康増進という位置付けとして健康・医療の項目に置いた方が良いのではないかと。</p> <p>(事務局) 所管課と調整し、位置付けを検討し改めて報告する。</p> <p>(委 員) 青少年健全育成が施策の体系の案では削除されているが、残しておいた方が良いのではないかと。</p> <p>(事務局) 青少年健全育成については、本年4月の組織改編で子育て部門の所管となったが、地域と家庭、教育の分野にまたがっていることもあり、記載方法について所管課と調整し報告する。</p> <p>(委 員) 中間答申では、オリンピックについて今年開催されるという表記になっているが、延期となったという表記に変えるべきではないかと。</p> <p>(事務局) オリンピックの延期については、中間答申をいただいた後に決定しているので、ここでは変更の必要はないと考える。長期総合計画の中での起債については、今後反映していく。</p> <p>(委 員) 今般の情勢等を勘案して、施策の体系で感染症対策は別項目として記述するべきではないかと。</p>

(事務局) 新型コロナウイルス感染症の対策については、今後の国や都の対策方針が流動的であり、計画期間が5年と長い基本計画で記載することは難しいと考える。現在も、個別計画である「新型コロナウイルス等対策行動計画」に基づいて対応しており、感染症対策に関しては、具体的な施策を記載するのではなく、一般的な事項として総合計画に盛り込むのが妥当と事務局では考えている。

### 3 議 題

#### (1) 基本計画について

##### －質疑・意見等－

(委 員) 地域コミュニティについて、重要性が分かりにくい表記となっているように感じる。地域コミュニティの活性化の必要性を強調する意味でも、災害時の互助・共助の記載については、他と重複していても、あえて残す方が良いと考える。

(委 員) 地域に若手職員を派遣し、活性化を図るとのことであるが、取組の趣旨は理解できるが、年齢差別につながるおそれがあると感じる。

(事務局) 委員の意見をもとに、所管課と調整し、記載について再検討する。

(委 員) 暮らしの便利帳が削除となっているが、配布しなくなるということか。

(事務局) 暮らしの便利帳については、市が予算計上して作成しているのではなく、事業者が作成し市に寄贈していただいている。このことから、市の事業として位置付けるのは適切ではないとこのことで、今回削除した。今後作成しない、という意味ではない。

(委 員) 地域コミュニティ等の具体施策で、情報通信技術を活用したコミュニケーションツールの研究が削除となっているが、緊急事態等の対応においては重要性が高いと思う。削除となった理由を教えていただきたい。

(事務局) 地域コミュニティのみを対象としたツールとしてではなく、市民全員を対象とした、SNSや市政情報メールなどを強化することで、目的を達成できるという考えから、この項目については削除した、と所管課からは聞いている。

(委 員) 現行の計画に記載されている事業が、削除されているものがあるが、目的の達成等で削除されたのであれば、新たな施策を打ち出していく必要がある。担当各課にもっと積極的に新規施策を打ち出していく姿勢を期待したい。

(事務局) 今後策定を進める中で、部会などの機会を通じて、担当各課に伝える。

(委 員) 地域住民が活躍できる場づくりとなるようアンケートの実施やコミュニティ専門家派遣による助言等の支援策を検討するべきではないか。

(委 員) 高齢者向けお互いさまサロンなどの内容を充実し、多くの住民同士が交流できる場の拡大を促進するべきではないか。

(委 員) タブレットだけでは高齢者や視覚障害者は利用することが困難であるため、受付・総合案内ロボットを導入し、対話方式での案内業務サービスを検討するべきではないか。

(委 員) 道路や公園等の公共施設において、アダプト制度（市が整備した公共空間を市民が管理する制度）の導入を検討し、市民参加を推進するのがよいのではないか。

(委 員) 各地域活動団体のPRや、日頃の活動に関する相談の場の提

